

柔道

(令和 7 年度)

兼全国及四国高校県予選

日 時 5月31日(土) 8:00 開場 9:00 審判・監督会議
9:30 開会式・個人試合

6月1日(日) 8:00 開場 9:30 審判・監督会議
10:00 選手集合・団体試合

会 場	愛媛県武道館	5月31日(土)主道場	6月1日(日)柔道場
競技種目	1 男子団体試合・女子団体試合 2 男子個人試合7階級 (60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級) 女子個人試合7階級 (48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・78kg級・78kg超級)		
審判規定	1 国際柔道連盟審判規程による。ただし、申し合わせ事項を含む。 2 申し合わせ事項 (1) 試合時間は4分間とする。 (2) 個人戦の判定基準は「有効」または「僅差」以上とする。団体戦における「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」以上とする。団体戦及び個人戦での「僅差」は、「指導差2」とする。「技の内容」と僅差の重みは、以下の項目の順とする。(一本勝＝反則勝＞技あり＞有効＞僅差) (3) 団体代表戦、個人戦において得点差がない場合は、時間無制限の延長戦により勝敗を決し、「有効」以上の得点があった時点か、指導差が出た時点で試合終了とする。 (4) 団体戦の代表選は、その対戦に出場した選手から任意に選出で行う。		
競技方法	1 団体試合 試合は点取り試合とする。トーナメントを行い、ベスト4が決定以降はリーグ戦により順位決定を行う。 (1) トーナメント戦、リーグ戦の勝敗の決定は次による。 ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。 イ アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。 ウ イで同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。 エ ウで同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。 オ エで同等の場合は、トーナメント戦は代表戦を行う。リーグ戦は引き分けとする。 (2) リーグ戦の順位決定は次による。 ア 勝ち数(チーム単位)の多いチームを上位とする。 イ 負け数(チーム単位)の少ないチームを上位とする。 ウ イで同等の場合は、リーグ戦を通じて勝ち数の多いチームを上位とする。 エ ウで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。 オ エで同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを上位とする。 カ オで同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを上位とする。 キ カで同等の場合は、リーグ戦を通じて負け数の少ないチームを上位とする。 ク キで同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。 ケ クで同等の場合は、「技あり」による負け数の少ないチームを上位とする。		

コ ケで同等の場合は、「有効」による負け数の少ないチームを上位とする。
サ コで同等の場合は、代表戦を行う。

- 2 個人試合 トーナメントまたはリーグ戦で行う。
- 参加資格 1 令和6年度愛媛県高校総体要項参加資格による。
2 (一財)愛媛県柔道協会を経て、全日本柔道連盟に登録をする。
- 参加制限 1 団体試合 1校1チーム
(1) 男子団体—監督1、選手5、補員1 (選手の配列は自由とする。3名以上で出場を認めるが、5名に満たない場合は後ろ詰めとする。)
(2) 女子団体—監督1、選手3、補員1 (選手の配列は自由とする。2名以上で出場を認めるが、3名に満たない場合は後ろ詰めとする。)
2 個人試合 希望する階級に全員出場することができる。
(令和7年度より地区予選を廃止)
- 申込方法 1 高体連事務局に所定の用紙で学校単位にて申し込む。
2 出場選手名簿作成の都合により、メールにて ozaki.0506.0305@gmail.com にも同じものを送信すること。(メール送信締切**5月1日(木)**)
- 表彰 1 団体優勝チームには賞状・優勝旗・盾を与える。
2 団体2、3位及び個人1～3位には賞状を授与する。
3 団体・個人1位に全国大会出場資格を与える。
4 男子団体・個人1～4位、女子団体・個人1、2位に四国大会出場資格を与える。
- 計量 1 個人試合の計量は、**5月30日(金)開会式終了後～17:00**に柔道場で行い、計量にパスしない者は出場できない。30日(金)に計量できない選手については、31日(土)8:15～8:45の時間に計量することができる。
2 計量の服装は、上半身Tシャツ、下半身は柔道着(ズボン)で行い、1kg未満の超過を認める。
- 参加上の注意 1 6月1日(日)監督会議までにオーダー表(図1参照)を提出する。提出後はオーダーの変更はできない。
2 補員は欠員部分に補い、一度退場した選手はその後一連の試合に出場できない。

先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将	学 校	縦 26 cm 横 72 cm
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------------------

図1 オーダー表(女子は先鋒、中堅、大将に記入)

- 3 柔道着の背中に規定のゼッケン(図2参照)を取り付ける。ゼッケンのない選手は失格とする。

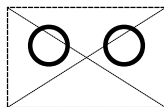


図2 ゼッケン(縦25～30cm、横30～35cm)

- (1) —————の部分縫い付けること。(縦横ならびに対角線)
(2) 苗字(姓)は上側2/3。学校名は下側1/3。
(3) 書体は太いゴシック(または楷書)、男子は黒色、女子は赤色。